

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第 28 回）
議事要旨

日 時 2014 年 4 月 11 日（金）12:00-13:00

場 所 日本学術会議 5-C(2)会議室（5 階）

出席者 荒川委員長、長野幹事、西尾幹事、伊藤委員、今田委員、岡田委員、大隅委員、永原委員

陪 席 日本学術会議事務局（盛田参事官、辻上席学術調査員、太田参事官付）

配布資料

- (1) 資料 1 第 27 回学術の大型研究計画検討分科会議事要旨（案）
- (2) 資料 2 日本学術会議主催学術フォーラム企画案募集について（回答）
- (3) 資料 3 マスタープラン 2014 の英語版（草稿）
- (4) 資料 4 「学術の動向」6 月号特集 1「マスタープラン 2014 -22 期日本学術会議の大型研究計画-」企画案
- (5) その他 マスタープラン 2011 の英語版などに関する参考資料

1) 前回議事要旨（案）の確認

資料 1 をもとに本分科会の第 27 回の議事要旨（案）の確認を行い、了承された。

2) 日本学術会議主催学術フォーラム企画案募集について

荒川委員長から、提言「第 22 期学術の大型研究計画に関するマスタープラン（マスタープラン 2014）」発出後の記者会見をはじめとする広報活動、および文部科学省における学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会での説明、さらに次週に予定されている内閣府総合科学技術会議における説明等の関係機関での周知活動についての報告があった。引き続き、広報・周知活動の一環としてかねてより平成 26 年 5 月 30 日開催予定で計画をしてきた、マスタープラン 2014 をテーマとする日本学術会議主催の学術フォーラムの企画案について資料 2 をもとに審議し、その内容を承認した。資料 2 をもって、学術フォーラムを日本学術会議大西会長宛に申請することとした。なお、学術フォーラムの申請が承認された場合は、開催日に合わせて本分科会を開催することとした。

3) マスタープラン 2014 の英語版について

資料 3 をもとにマスタープラン 2014 の英語版（ウェブ公開）の作成について審議を行った。内容としては、日本語版の要旨をもとにした英語版の「まえがき」、および採択された大型研究計画の表形式リストの英訳版（資料 3）で構成することとした。なお、「まえがき」については、荒川委員長と辻上席学術調査員に作成いただくこととした。

4) 「学術の動向」6 月号におけるマスタープラン 2014 特集について

資料 4 をもとに「学術の動向」6 月号特集 1「マスタープラン 2014 -22 期日本学術会議の大型研究計画-」企画について、荒川委員長から説明がなされた。日本学術会議大西会長にも御寄稿いただける可能性についても紹介があった。

5) その他

荒川委員長から、マスタープラン 2014 の策定に関する一連のプロセスにおける本分科会委員の尽力に対して謝意が述べられた。